

## 神奈川憲法会議 2025年度の活動

浅川壽一  
(神奈川憲法会議事務局長)

- 1 一年間の活動
  - (1) 5月3日 神奈川公会堂にて「県民のつどい」を開催、約400人参加  
「パレスチナ問題に及び腰の日本」～戦後80年、日米関係から世界をみる～  
高橋宗瑠先生(大阪女学院大学教授)  
「刑事手続と再審の過去・現在・未来」  
長谷川拓也団員(川崎合同法律事務所)  
催し終了後に講演の様子を YouTube にアップ
  - (2) 11月28日 南公会堂にて「秋の学習会」を開催  
永山茂樹東海大学教授(憲法会議、神奈川憲法会議、代表委員)  
「戦後80年、憲法の現在とこれからの日本」  
仁比そうへい参議院議員 国会情勢の報告
  - (3) 2月2日 日の丸君が代 不実施申し入れ  
神奈川県教育委員会と横浜市教育委員会に対し、日の丸君が代を実施しないよう、要請行動
- 2 そのほかの活動
  - (1) かながわ憲法共同センターに参加  
月一回、桜木町駅前(みなとみらい地区)にて宣伝行動  
再審に関する学習会を実施  
横浜ノースドック(米軍揚陸部隊施設)強化反対運動
  - (2) 政治活動としての氏名入りタスキ着用(声明を作成)
  - (3) 九条の会ちがさき 後援不承認問題 事務局長主任代理人として訴訟
  - (4) いわゆる「スパイ防止法」学習会講師派遣(事務局長)  
スパイ防止法は特定秘密保護法等で既に制定済み  
これから出来るものは、スパイ組織設置と強化法  
外国政府代理人制度は外国政府影響排除と市民活動への萎縮を招く
- 3 2026年「県民のつどい」  
神奈川公会堂にて、室蘭工科大学の清末愛砂教授を迎えての講演を予定

以上です

石川憲法会議 この1年間の取り組みを中心に

報告者 事務局長 板坂洋介

石川憲法会議の結成と構成

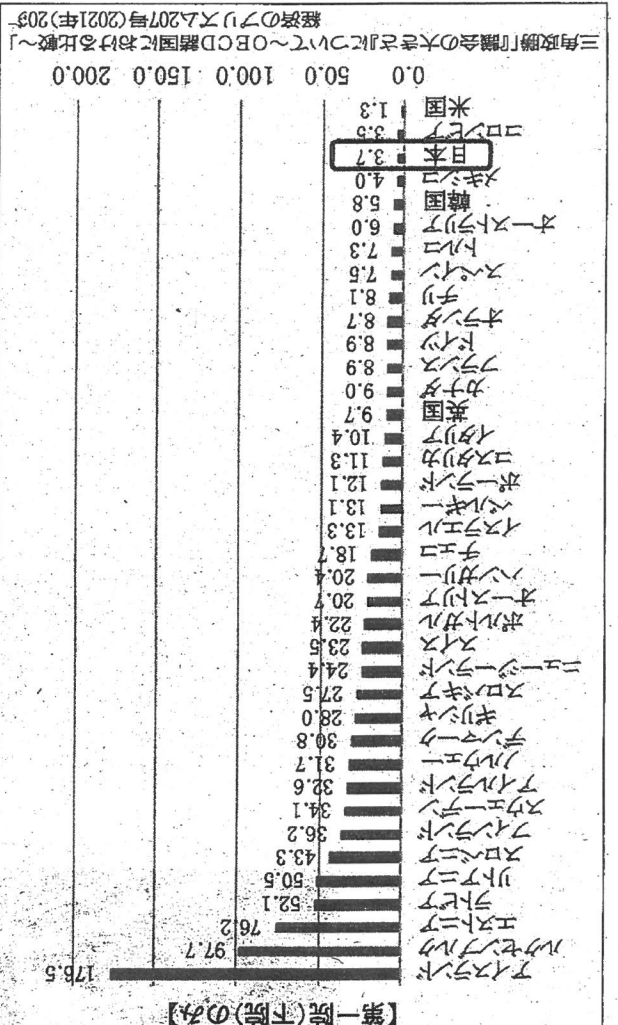
今年結成60年、現在、民医連・県労連・新婦人など16団体と個人で構成。

毎月定例(第二水曜日)複数の代表委員と各団体・個人の幹事による幹事会で運営。

- (1) 毎月定例3の日行動の街頭宣伝の取り組み  
(12時から13時 金沢市内 武蔵デパート 金沢エムザ前で県労連・民医連・新婦人の3団体が輪番で実施)
- (2) 毎月定例(第二水曜日)「怒りの屋デモ」の取り組み(この3月11日で216回目)  
(12時50分香林坊の四高記念公園横に集合し武蔵エムザ裏まで繁華街を行進)
- (3) 5月3日平和憲法施行78周年記念県民集会の取り組み  
憲法改悪NO!市民アクション・いしかわ主催 構成は、憲法会議、九条の会・石川ネット、県労連、県平和運動センター、憲法を守る会、新婦人、青法協等32団体構成) 県女性センターホール(350席) 三上智恵監督講演と「戦雲」上映  
・毎月定例の連絡会で運営。戦争法強行成立以来毎月19日昼に定例街頭宣伝
- (4) 「戦後・被爆80年平和を願うネットワーク」の取り組み  
8月1日から15日まで県庁19階の展示・交流コーナーで平和のパネル展など憲法会議等の市民団体が共同企画で開催
- (5) 新しい大軍拡反対請願署名の取り組みと憲法改悪NO!大軍拡・大増税NO!の  
11月4日(火)から11月14日(金)(平日8日間)全県キャラバン行動の取り組み  
憲法会議・平和委員会・県革新懇の3団体で事務局を構成し地域の「九条の会」等に参加を呼び掛けて成功させる。(県下35箇所・延べ202人)
- (6) その他の共同の恒例の取り組みと今年の当面の取り組み  
① 11・3 平和憲法公布79周年記念県民集会  
憲法改悪NO!市民アクション・いしかわ主催 県教育会館ホール(344席)  
「戦争法から10年 改憲策動と地域からみる実態改憲」シンポ  
② 12・8 「平和を守る集い」憲法会議など6団体主催  
③ 1・31 「新春のつどい」憲法会議が呼び掛け17団体の実行委員会主催  
④ 2・11 「建国記念日反対の集い」憲法会議など6団体主催  
⑤ 3・17 「高市政権は戦争に向かうな!」緊急集会市民アクション・いしかわ主催  
⑥ 3・28 「スパイ防止」講演会 憲法会議・救援会・国賠同盟の3団体主催  
⑦ 5・3 「平和憲法施行79周年記念石川県民集会」県女性センター・センター記念講演 石井 堯 (共同通信社編集委員) 市民アクション・いしかわ主催  
⑧ 8・30 石川憲法会議結成60周年記念企画 県女性センターホール(350席)  
「松元ヒロ口演&渡辺治講演」



### 人口100万人当たりの議会の定数



三角波線「議会の大きさ」についてOECD諸国における比較～経緯のワシントン207号(2021年)203

・大規模な議院制  
 ・議院制の歴史  
 ・議院制の発展  
 ・議院制の現状  
 ・議院制の将来

# 議院制の歴史と現状

議院制の歴史は古く、古代ギリシアやローマの共和政に起源をたどる。中世以降、封建制の崩壊とともに、市民階級の台頭により、王権神授説に代わり、主権在民の思想が広がり、議院制が確立されていく。近代議院制の祖とされる英国の議院制は、13世紀のマグナ・カルタを契機として、王権を制限し、代議政治の基礎を築いた。その後、フランス、アメリカ、ドイツなど、世界各国へと広がっていった。

現代の議院制は、民主主義の重要な柱となっており、国民の意思を代弁し、行政権を監督する役割を果たしている。また、議院制は、政治の透明性を高め、政策決定の慎重性を確保する効果も持っている。しかし、議院制には、議決が遅延しやすい、責任が分散しやすいといった課題も存在する。今後の議院制の発展には、これらの課題を克服し、国民の利益を最大限に果たすことが求められる。

議院制の歴史は、民主主義の発展と密接な関係にある。古代ギリシアのアテナイでは、公民大会が最高権力機関として機能していた。ローマの共和政でも、元老院と民衆大会が重要な役割を果たしていた。中世のヨーロッパでは、封建領主と農民の対立を調整するために、代表者会議が形成されていった。これが後の議院制の原型となる。

近代議院制の確立は、17世紀の英国に始まる。1215年のマグナ・カルタは、国王の権力を制限し、議院の承認なしに税金を課税できないことを規定した。1295年のモデル・ロールは、議院の組織を明確にし、代議政治の基礎を築いた。1689年の権利の宣言は、議院の権力を強化し、君主立憲制の基礎を築いた。

フランスでは、1789年の国民議会の発足が議院制の始まりと見られる。アメリカでは、1787年の憲法制定が議院制の確立を意味する。ドイツでは、1871年の北ドイツ連邦議会の発足が議院制の始まりと見られる。日本では、1889年の明治憲法制定が議院制の導入を意味する。

第二次世界大戦後、議院制は世界的に広がり、現在ではほとんどの先進国で採用されている。しかし、一部の国では、大統領制や半大統領制など、議院制以外の制度も存在する。議院制の優劣は、国の歴史や文化によって異なるが、民主主義の発展に大きく貢献していることは確かである。

## 議院制の歴史と現状 ②



## 2025年度和歌山憲法会議レポート 東山邦夫(事務局長)

1. 高市改憲阻止に向けた全国署名などの運動、及び憲法の蹂躪を許さず、守り・生かす運動の報告

- (1) 憲法会議の活動とともに、「憲法九条を守るわかやま県民の会」・「各郡市共同センター」・「9条の会わかやま」「弁護士9条の会」等と連携しながら、学習・宣伝・署名にとりくみました。
- (2) 県地評や平和フォーラムなどが呼びかける「戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会」が中心となり、2025年9月19日に憲法アピール行動(集会・行進)を実施しました。
- (3) 憲法記念日の5月3日には、和歌山城砂の丸広場にて、「憲法九条を守る和歌山県民の会」「弁護士9条の会」「戦争させない和歌山県委員会」の共催で、「Happy Birthday 憲法」を行われ、子どもや若者から高齢者まで1000名を超える多数の人が参加しました。飲食ブースは多種・多様なものが販売され、ステージでは「平和」をテーマにして様々な演目が行われ、憲法の誕生日を祝いました。
- (4) 憲法会議も参加する「憲法九条を守るわかやま県民の会」は、毎年「We Love 憲法」集会を開催しています。2025年5月17日、プラザホープにて、フリージャーナリストの西谷文和氏を講師に招き、「憲法9条で戦闘と温暖化を止める ガザ、ウクライナ、アフガン、そして関西の今」と題して講演を行い、90名が参加しました。西谷氏は、いったん始めれば止まらない戦争ではなく、話し合いで解決することなど、憲法を生かす政治への転換を訴えました。
- (5) 2025年8月2日、憲法会議総会・学習会を行い、40名が参加しました。総会のあと、神戸大学院大学名誉教授で全国革新懇代表世話人の石川康宏氏を講師に招き、「日本の平和を守るには」と題して憲法学習会を開催しました。講演では、トランプ大統領による軍事費 GDP 比 3.5%、21兆円の要求を批判しました。そして、2025年度からの長距離ミサイル配備が中国との緊張状態を悪化させていること、「中国との対話の扉が開かれているのに、なぜ仲良くしないのか」など、アメリカ言いなりの日本の政治の弱点を指摘しました。さらに、右傾化の広がりと見える参院選の結果を分析し、今後のたたかいかたについて強調されました。
- (6) 「九条県民の会」が毎月 JR 和歌山駅で行う「9の日宣伝行動」に参加しました。
- (7) 「弁護士9条の会」が行う改憲阻止の「ランチタイムデモ」に参加しました。
- (8) その他、原水協、非核の政府をつくる会、安保をなくす県民会議、革新懇、平和委員会などが主催するとりくみに可能な限り参加しました。

2. 今後の「憲法運動」の推進と共同の拡大などの計画・決意

- (1) 職場や地域に根ざした運動を基本にして、中央と地方との連携、改憲反対団体(労組・民主団体)との連携を密にしながら、市民と野党の共闘を広げるような運動をめざします。
- (2) 憲法会議も参加する9条県民の会の「9の日宣伝」に引き続き参加します。
- (3) ランチタイムデモは、引き続き弁護士9条の会が呼びかけ団体となり、偶数月開催として3団体(県地評・平和フォーラム・弁護士9条の会)で準備・運営を分担する。
- (4) 5月3日の憲法記念日には、9条改憲反対の多くの団体が共同して、「Happy Birthday 憲法」を和歌山城砂の丸広場で開催する予定です。
- (5) 5月16日(土)、和歌山市プラザホープにて行う「We Love 憲法」集会には、関西学院大学教授の富田宏治氏(全国革新懇代表世話人)を講師に招いて、今後の憲法闘争について講演会を行う予定です。
- (6) 憲法会議に参加する団体や会員を増やし、「大軍拡・大増税に反対する請願署名」にとりくみ、憲法リーフレットやポスターの普及・活用にとめます。
- (7) 7月～9月に憲法会議の総会・学習会を行う予定です。

3. 中央憲法会議への要望・提案

4. その他

## レポート

憲法会議・団体名 鳥取県憲法会議

### 1. 高市改憲阻止に向けた全国署名などの運動、および憲法の蹂躪を許さず、守り・生かす運動の報告

- 憲法学習講演会開催
  - 2月11日（小泉親司:安保放棄中央実行委員会常任幹事）
  - 5月3日（佐久間邦彦:広島県被団協理事長）
- 活動参加
  - 「安保法制廃止」行動(毎月3日)・ノーニュークスデイ in 米子集会(3月15日)
  - 上脇博之氏企業・団体献金問題オンライン講演会(3月15日)・治安維持法公布100年の宣伝行動(4月22日)・沖縄関連街頭宣伝(6月23日)・市民と立憲野党合同街頭宣伝(11月3日)・小林節氏憲法講演会(11月9日)
- 「憲法改悪を許さない全国署名」・「平和、いのち、くらしを壊す大軍拡、大増税反対署名」・「治安維持法犠牲者国家賠償要求署名」・「日本学術会議の特殊法人化反対オンライン署名」・「デマと差別が蔓延する社会を許しませんオンライン署名」参加
- 「機関紙鳥取県憲法会議通信」の毎月発行
- 「月刊憲法運動」読み合わせ会の毎月開催

### 2. 今後の「憲法運動」の推進と共同の拡大などの計画・決意

「高市自民・維新政権がすすめる、平和・いのち・くらしを壊して、戦争する国づくりのための大軍拡・大増税の企て。」そして「自民・維新政権とその同調勢力の憲法改悪の企て」を阻止する運動を盛り上げ、平和な国づくりのために、日本国憲法を守り・生かす運動に取り組む。

- 共闘団体と共に憲法学習講演会を開催
- 「憲法改悪を許さない全国署名」集約
- 共闘団体と共に、憲法改悪阻止運動
- 「機関紙鳥取県憲法会議通信」発行
- 憲法会議発行「月刊憲法運動」の読み合わせ会

## 広島憲法会議からのレポート

2026年3月2日

広島憲法会議 代表・石口俊一

### 1 広島の活動の体制について

「戦争させない・9条壊すな！ヒロシマ総がかり行動」（県9条ネット、戦争を許さないヒロシマ1000人委員会、共同センター）による毎月の「3日に行動」（市内中心部での街宣活動）を軸として、5・3と11・3に護憲団体を統一した憲法集会の開催をしている。なお、石口は、県9条ネットの事務局長、1000人委員会の呼びかけ人、先の「ヒロシマ総がかり行動」の共同代表として活動。

憲法会議としては、5・3憲法集会の主催、7月末の広島文団連主催の平和とろうろろ集会の共催、9・2前後にJCJ広島支部と共催の「不全の集い」を担当。

### 2 この間（2025年5月以降）の広島地域を中心とした主な活動（2025年）

- \* 5 / 3 ヒロシマ総がかりと広島憲法会議の共催による初めての憲法集会  
1部：憲法ミュージカルと高校生平和ゼミによる歌、音楽のアピール  
2部：記念講演：講師・藤原辰史氏  
演題：非道の時代の平和論―食の歴史学のアプローチ
- \* 5 / 18 三次市甲奴町9条の会（広島県の北）・主催の憲法講演  
（講師：弁護士石口俊一）
- \* 5 / 31 生協9条の会・主催の憲法講演会（講師：弁護士石口俊一）
- \* 7 / 5 日本ペンクラブ等の主催「ヒロシマが再び『軍都』になるの？」集会  
（憲法会議が応援）
- \* 7 / 21 平和とろうろろ集会（広島文団連・主催／広島憲法会議・共催）
- \* 7 / 25 9条の会呉が主催の憲法講演会（講師：弁護士石口俊一）
- \* 9 / 6 広島中央保健生協が主催の憲法講演会（講師：弁護士石口俊一）
- \* 10 / 25 広島弁護士会主催の憲法講演会  
講演：川野徳幸氏 「核なき世界とヒロシマの役割」
- \* 11 / 1 9条の会はつかいちが主催の講演会（講師：田浪亜央江氏）
- \* 11 / 3 憲法の集いの開催（ヒロシマ総がかり・主催）  
講演：猿田紗世氏「軍事に頼らない新しい外交を切り開く」
- \* 11 / 29 (AM) 生協9条を考える会・講演会（講師：弁護士石口俊一）
- \* 11 / 29 (PM) 全国自治研全国集会学習会・講演会（講師：弁護士石口俊一）
- \* 12 / 13 JCJヒロシマ・不戦の集い（講師：石井暁氏）
- \* 12 / 20 「呉を再び『軍港』にするって、ほんとにいいの？―呉の未来を考えよう―」集会（総がかり他の主催）

（2026年）

- \* 1 / 10 新春憲法討論集会 (広島県内の有志)
- \* 2 / 7 日鉄呉跡地問題を考える・集会 (講師：布施祐仁氏)
- \* 2 / 28 「戦前—治安維持法、いま—スパスパイ防止法」集会  
(講師：額瀨厚氏、大住広太弁護士)

3 今後の予定など

- \* 5 / 3 ヒロシマ総がかりと広島憲法会議の共催による初めての憲法集会
  - 1 部：憲法ミュージカルと高校生平和ゼミによる歌、音楽のアピール
  - 2 部：記念講演：講師・飯島滋明氏  
演題：検討中

以上

# 憲法会議 活動報告

## 香川憲法会議

1) 高市改憲阻止に向けた全国署名などの運動、および憲法の蹂躪をゆるさず、守り・生かす運動の報告

### ○総会・講演会関係

- ・「香川憲法会議」総会 (2025. 4. 19 香川県教育会館)

事務局長に十河浩二を選出。

総会議事後、「憲法会議結成 60 年記念講演会」での渡辺治さんの講演をビデオ視聴。

- ・「平和憲法を生かす香川県民の会」総会・講演会 (2025. 5. 3 香川県民ホール)

事務局次長に十河浩二香川憲法会議事務局長を選出。

記念講演は金平茂紀さん「トランプ大統領にかき回される世界のなかで―戦後 80 年、どのように平和憲法を活かしていくか―」

### ○行動関係

- ・高松空港「特定利用空港」指定の動きについて、空港周辺 1000 世帯にピラをポスタイング (2025. 9. 21、

「平和憲法を生かす香川県民の会」として)

- ・高松空港に米軍ヘリが緊急着陸 (10. 16) したことについて香川県知事に真相究明を求める申し入れ (2025. 10. 23、「郷土かがわを戦場にすな！県民連絡会」として)

- ・高松港自衛隊艦船入港時の抗議行動 (3 回、「郷土かがわを戦場にすな！県民連絡会」として)

- ・高松協同病院「9 条の碑」建立募金 (県内 4 基目)

### ○街頭宣伝での弁士

- ・香川革新懇・9 条の会かがわ「6 の日行動」(毎月 6 日昼、高松中央商店街)
- ・市民連合@かがわ「19 日宣伝」(毎月 19 日早朝、J R 高松駅前)
- ・平和憲法を生かす香川県民の会「敗戦の日宣伝」(2025. 8. 15、早朝 J R 高松駅前、昼宣伝高松中央商店街)
- ・平和憲法を生かす香川県民の会「開戦の日宣伝」(2025. 12. 8、早朝 J R 高松駅前)

2) 今後の「憲法運動」の推進と共同の拡大などの計画・決意

- ・2026 年度香川憲法会議総会

2026. 4. 18 開催予定、高橋信一憲法会議事務局長による講演

- ・その他、随時情勢に応じて行動提起。現在未定。

以上